

- 経営管理権集積計画の策定の可否等を検討するため、森林所有者に対する経営管理意向調査及び森林現況調査を実施。
- 本調査は、令和2年度から5か年かけて行うこととしており、令和5年度までに、803人、3,976haの意向調査、24,920haの航空レーザ測量、15,600haの森林資源解析を実施済み。最終年となる令和6年度は世田米地区の森林を対象に実施した。

□ 事業内容

経営管理意向調査及び森林現況調査の実施

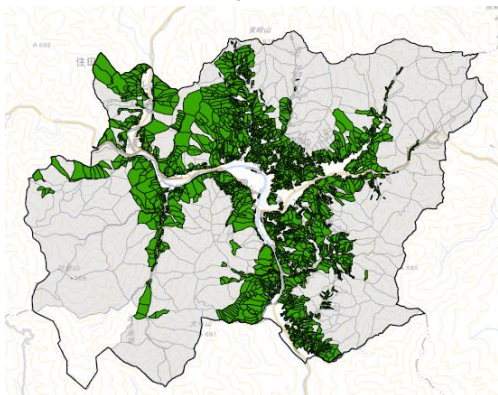
- ・ 世田米地区の私有林（3,428筆、1,992ha）の所有者（646人）に対し、森林経営管理法に基づく経営管理意向調査を実施。
- ・ 森林現況調査として、同地区において航空レーザ測量（7,400ha）及び森林資源解析（5,500ha）を実施。

【事業費】 経営管理意向調査5,170千円、森林現況調査23,100千円
（全額譲与税）

【実績】 意向確認所有者500人、意向調査面積1,641ha

□ 取組の背景

- ・ 森林経営管理制度の推進に当たっては、基礎情報の収集を行っている段階であり、今後、森林所有者に対する森林の状態の周知、集約化による効率的な作業の提案、望ましい管理方法についての相談機会の設定を行う予定。



（令和6年度に実施した森林管理意向調査区域）

□ 工夫・留意した点

- ・ 町内の森林は広大で、かつ所有者も多数に上ることから、本事業には多額の費用と膨大な事務量が伴うため、町内を5地区に分け5か年で実施することで、平準化を図った。

□ 取組の効果

- ・ 町内全ての森林資源解析が完了し、意向調査により、私有林の95%にあたる面積の意向が確認できた。
- ・ 具体は未定ながら、航空レーザ測量により得られた地形データ等を防災や道路河川管理等の各分野で活用する方向で検討中。
- ・ 令和7年度以降は、森林資源解析データをもとに森林経営サポート資料を作成し、当資料をもとに所有者に対し、所有する森林の状況をフィードバックしながら、森林経営の方向性を整理していく予定。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：54,618千円	②私有林人工林面積（※1）：5,304ha	
③林野率（※1）：89.5%	④人口（※2）：5,045人	⑤林業就業者数（※2）：77人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より